

第73回 横浜市身体障害者 福祉の集い 2023年7月9日(日)

会場 横浜ラポールシアター 開会13:00/閉会15:30 (開場12:00)

第1部 ◆ 表彰式・大会宣言

～身体障害者の自立と社会参加をめざして協調し、交流を深めるとともに、福祉の向上に功績のあった方々を表彰します～

入場
無料

定員
260名

予約
不要

第2部 ◆ 落語 (ときどき闘病記)

◆ 抽選会

《問合せ先》

公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会
TEL 045-475-2060 FAX045-475-2064
(受付時間 月～金 9～12時、13～17時)
〒222-0035横浜市港北区鳥山町1752
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階



※第2部のみ 観覧される方へは 抽選券の配付はありません



落語家
三遊亭あら馬

1977年鹿児島県生まれ。学生時代からタレントとして地元で活動し、鹿児島大学卒業後、上京してフリーアナウンサーや役者として活動。6年間の社会人落語家を経て、2017年、三遊亭とん馬に入門し正式に落語家へ。2021年5月【二つ目】昇進。2児の母でもある。子どもの目線・保護者の目線の落語公演の他、PTA及びインクルーシブ教育などの講演会も積極的に開催。地元杉並区の小学校では子どもたちに落語のおばちゃんを愛されている。2021年10月、弟の肝臓の25%をもらって、生体肝移植手術。「胆道閉塞症」という病気をもって生まれ、「18歳までしか生きられない」と告げられる。物心ついた時から頭の中には「太く楽しく生きよう」という思いがあった。胆管炎を繰り返し、胆石除去手術を何度も受けた。2021年2月に「あと半年」と余命宣告。「助かる道は肝臓移植しかない」と告げられた際、「43歳まで生きたし、もうこれで終わりではないか」と思った。二つ目に昇進したばかりで、師匠方から「あら馬、生きる！」と激励。それで「こんなに応援してくれる人がたくさんいるならやっぱり生きなきゃダメだ」と移植を決意。入院生活も苦難の連続、そんな中うれしくて号泣したのは、術後10日目に確認できたブログに届いた大量の応援メッセージを見た時。「一人じゃない、頑張らねば」と思起す。そこからは、猛然とリハビリに励み、半年後に退院。その半月後には高座復帰を果たす。免疫抑制剤は必ず1日2回、12時間おき、一生服用といわれている。福祉の集いでは、生まれてから現在までの闘病記と、落語をお届けします。

- * 手話・要約筆記通訳あり
- * 車椅子スペースあり (10席程度)
- * 点字・拡大文字のプログラムもご用意しております (数に限りあり)
- ◆ 会場内ではできるだけマスク着用のご協力をお願いします

◀ ◀ アクセス ▶▶ ▶

- 新横浜駅から徒歩 (約10分)
JR横浜線「北口」横浜市営地下鉄・相鉄・東急出口9
- 新横浜駅からリ付無料送迎バス (約5分)
駅北口側 (出口4A) 福祉施設利用送迎バス乗降場から、
横浜市総合リハビリテーション・横浜ラポール専用
- 横浜市営バス
300系統「浜鳥橋下車 徒歩2分

